

# 自然の家だより

令和 4年  
11月15日

岐阜市少年自然の家（公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団） 岐阜市山県北野2081番地

Tel 058-229-2888 Fax 058-229-2933 E-mail gishizen@he.mirai.ne.jp URL https://gikyobun.or.jp/gishizen/

肌に触れる風もだんだんと冷たくなり、少しずつ冬の訪れを感じます。

さて、右の写真の鳥の名前は知っていますか？

これはカルガモというカモの仲間です。日本では年中見ることができ、ファミリーパークの池でもよく見かけます。しかし、寒くなってきたこれからの時期は、近くの川や池で、様々な種類のカモを観察することができます。

今回のたよりでは、市内や市内周辺で見られるカモを紹介します。



## 6種類のカモの仲間

※全てオスの写真

### ヒドリガモ

全長 48 cm



(頭からクチバシにかけてクリーム色)

### コガモ

全長 38 cm



(目から首にかけて緑色)

### オシドリ

全長 45 cm



(オレンジ色の銀杏羽)

### ハシビロガモ

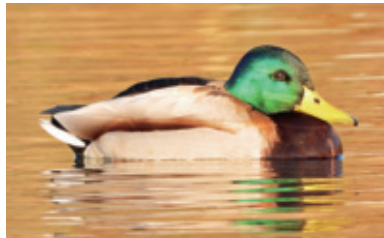
全長 50 cm



(シャベル型のクチバシ)

### マガモ

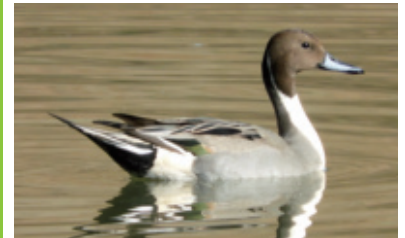
全長 59 cm



(顔が緑色・クチバシが黄色)

### オナガガモ

全長 75 cm



(尾羽や首が長い)

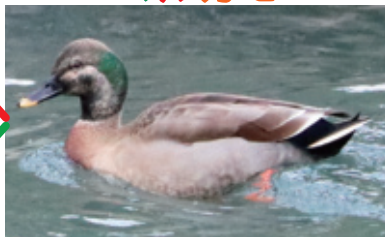
### カルガモ



### マガモ



### マルガモ



## カモは交雑する

生き物は違う種類との繁殖をすることはあまりありませんが、カモは違う種類とでも繁殖をすることがあります。左の写真のカモは、カルガモとマガモの雑種『マルガモ』と思われる。

このように、羽の色やクチバシの形などが違うカモを観察することができます。よく観察すると、マルガモのような交雑種が見られるかもしれませんよ。